
7-(2) 情報システム関係について

2007年度は、第4次長期計画事業の一つとして整備を進めている「ユビキタス教育環境整備事業」として、Webサービスの本格運用とeラーニング関連の取り組みを中心に事業を実施した。2006年度末より稼働させたWeb系の各サービスについては、全学統合認証と連携した「ポータル」システムを中心に、「Webシラバス」や「Web履修登録」を本格運用するとともに、サービス内容の機能強化を図った。また、eラーニング関連の取り組みについては、試行的に導入していたLMS（Learning Management System）である「Moodle」を本格導入したほか、講義コンテンツ配信を目指したストリーミング配信サーバを導入するなど、ネットワークを介した学習・教育の基礎環境を整備した。また、情報教室整備や無線LAN環境整備を進めたほか、深草学舎においてはラーニングクロスロードでのICT（Information and Communication Technology）支援カウンター設置など、ICT支援についての環境整備もおこなった。

1) 基幹ネットワークの整備

昨年度に引き続きユビキタス教育環境を整備するため、情報基盤整備に取り組んだ。主な取り組みとしては、2006年度に基幹ネットワークのインターネット接続をマルチホーム化することで耐障害性と利便性の向上を図ったことを踏まえて、2007年度は新たに瀬田学舎にバックアップ回線を敷設することで耐障害性をより一層向上させた。また、無線LANアクセスポイントを深草学舎、大宮学舎の合同研究室、瀬田学舎では学生交流会館に設置することで、学生へのユビキタス環境の向上を図った。さらに、ネットワークの積極的な利用を促進するため、ブラウザ上で動作する簡易なテレビ会議システムを導入し遠隔講義への対応を図るとともに、Webサービスの更なる活用を探るために実験用サーバを導入し、最初の取り組みとして携帯電話を用いて講義の出席状況を確認するシステムを試験提供するなど、教育に資する取り組みを進めた。

2) 情報教育環境の整備

深草学舎21号館4階5階中規模教室・大宮学舎清和館3階ホール・瀬田学舎2号館大講義室を対象に視聴覚機器等を更新しマルチメディア教育環境を充実した。具体的には21号館の老朽化したプロジェクションTVをプロジェクターに更新した。また、清和館3階ホールの、プロジェクターを更新するとともに講義収録機能も付加し、授業や講演会等の映像・音声を容易にデジタルコンテンツ化することを可能とした。深草学舎に情報実習室（60台）を1室、大宮学舎にセルフラーニング室（51台）を整備し、情報教育科目の増加による情報実習室不足と自習端末不足を大幅に改善した。ユビキタス教育環境を実現するために試行してきたLMS「Moodle」を本格的に導入した。講義資料の配付、課題の提示・提出、小テストの実施等、授業を補助するツールとして大いに活用されている。また、ストリーミング配信サーバを整備し、より多くの講義・講演・行事等のオンデマンド配信を可能とした。また2009年9月に予定する情報教育機器等リプレイスに向け、メディア教育委員会の下に、次期情報教育システム検討委員会を発足させ、本学の新たな情報教育環境整備をより一層促進するため取り組みを開始した。

3) 事務システムの整備

2007年3月より稼働した「ポータル」サービスを中心に、「Web シラバス」や「Web 履修登録」等、利用者の利便性向上を図るためのサービスを展開した。「Web シラバス」では、授業の進捗に併せた講義計画等の変更機能や、授業時に用いる資料のダウンロード機能等、Web の特性を活かした機能を設けることにより、シラバスを授業のフロントページとして年間を通じて利用できるようにした。

「Web 履修登録」は、4月に国際文化学部でパイロット実施したのち、9月には全学部を対象（年間登録者・大学院生は対象外）に実施し、キャンパス内外問わず履修登録を行える環境を整えた。新たな取り組みとしては、これまで学内の掲示板でのみ公開していた教室変更情報を Web 化し、ポータルから閲覧するサービスを開始した。基幹系システムでは、前述の Web サービスとの連携を円滑に行うため大幅な機能改修を行ったほか、学部の新カリキュラム対応や「源泉徴収票」の様式変更など、各種制度変更に伴う機能改修を行い、教学業務や法人業務をサポートした。